



Cisco Application Services Engine のメンテナンス

- ・
- ・ [シングル マスターノードのRMA \(1 ページ\)](#)
- ・ [2つのマスターノードの RMA \(2 ページ\)](#)
- ・ [シングル ワーカー RMA \(2 ページ\)](#)

シングル マスターノードのRMA

マスター ノードの RMA にこの手順を使用します。

-
- ステップ 1** 正常なマスター ノードの1つでUIにログインします。[システム リソース (System Resources)] < [ノード (Nodes)] を選択します。
 - ステップ 2** 削除する古いマスター ノードの電源をオフにします。UIで、このノードのステータスが [非アクティブ (Inactive)] に変更されていることを確認します。削除する必要があるノードのシリアル番号と一致することを確認します。
 - ステップ 3** 新しいノードの電源をオンにし、ブートストラップを完了します。古いノードの設定に使用したものと同一パラメータ (名前とネットワーク情報を含む) を使用します。このノードのシリアル番号を書き留めます。
 - ステップ 4** UIで、非アクティブなマスターノードの横にあるチェックボックスをオンにします。[アクション (Actions)] をクリックし、[置換 (Replace)] を選択します。プロンプトが表示されたら、[New Serial Number]の下に新しいノードのシリアル番号を入力して続行します。
 - ステップ 5** UIで、シリアル番号が更新されるのがわかります。マスターがクラスタに正常に参加すると、ステータスが [アクティブ (Active)] に変わります。
-

2つのマスターノードのRMA

マスターノードのRMAにこの手順を使用します。

ステップ1 障害が発生した2つのマスターノードの電源を切ります。

ステップ2 古いノードのブートストラップに使用したパラメータと同じパラメータを使用して、2つの新しいノードの電源をオンにし、ブートストラップします。

ノードのブートストラップについては、[Cisco Application Services Engine の展開](#)を参照してください。最大4つのワーカーノードをクラスタに含めることができます。

ステップ3 正常なマスター (CLI) にログインし、**acidiag recover save** コマンドを実行します。

```
[rescue-user@node1 ~]$ acidiag recover save
Warning: Cluster recovery can be a disruptive operation and should only
be performed as last resort option to recover cluster from disasters
where two master nodes have lost their state due to hardware faults. Proceed? (y/n): y

cluster snapshot '/tmp/cluster_snapshot.tar.gz' generated successfully.
Copy to other devices as '/tmp/cluster_snapshot.tar.gz' before performing restore.
```

ステップ4 前の手順で生成された .tar ファイルを2つの新しいノードに /tmp/cluster_snapshot.tar.gz としてコピーし、すべてのノードで **acidiag recover restore** コマンドを実行します。ノードが再起動します。

```
[rescue-user@node1 ~]$ acidiag recover restore
Warning: This command will restart this device to perform recovery.
Make sure, you have copied cluster snapshot to other devices
if you are recovering the cluster from this device. Proceed? (y/n): y
Connection to 172.20.6.119 closed.
```

ステップ5 すべてのノードがクラスタを形成し、それらのステータスが正常と表示されるまで待ちます。クラスタ全体のヘルスを確認するには、**acidiag health** コマンドを使用します。

シングルワーカーRMA

障害が発生したワーカーノードを置換するには、次の手順を使用します。



(注) 不正なソフトウェア状態のノードをクリーンアップまたはリカバリするには、**acidiag touch clean** または **acidiag touch setup** を使用してから、**acidiag reboot** が続きます。



(注) 物理的に交換する必要があるハードウェアの問題に対してノードをRMAできるように、**[削除 (Delete)]** オプションが提供されていないことを確認してください。ワーカーノードを削除する場合は、同じブートストラップ情報で新しいノードを**登録**する必要があります。

-
- ステップ 1 正常なマスターノードのいずれかの GUI にログインします。[システム リソース (System Resources)] < [ノード (Nodes)] を選択します。
 - ステップ 2 削除する古いワーカーノードの電源をオフにします。GUIで、このノードのステータスが **[Inactive]** に変更されていることを確認します。シリアル番号が、交換する必要があるノードのシリアル番号と一致していることを確認します。
 - ステップ 3 GUIで、削除する必要があるワーカーノードの横にあるチェックボックスをオンにします。[アクション (Actions)] < [削除 (Delete)] をクリックします。このノードのエントリが [ノード (Nodes)] ページから削除されます。
 - ステップ 4 新しいワーカーノードの電源をオンにし、ブートストラップを完了します。古いワーカーノードの設定に使用したのと同じパラメータを使用します。このノードのシリアル番号を書き留めます。
 - ステップ 5 GUI では、ワーカーノードエントリは **[登録解除 (Unregistered)]** として表示されます。シリアル番号が新しいノードのシリアル番号と一致していることを確認します。
 - ステップ 6 GUIで、このワーカーノードの横にあるチェックボックスをオンにします。[アクション (Actions)] をクリックし、**[登録 (Register)]** を選択します。次の画面で詳細を確認し、**[保存 (Save)]** を選択します。
 - ステップ 7 GUIで、ノードのステータスが **[Discovering]** に変わり、その後、**[Active]** に変わります。
-

